

# aff August 2014

あふ

agriculture + forestry + fisheries

特集1

## 活用しよう! 農地中間 管理機構

映画「リトル・フォレスト 夏／秋」公開記念座談会

「食」と「農」の本質的な繋がりを  
多くの人に感じて欲しい

林農水産大臣 × 映画監督 森 淳一 さん × 伊勢崎まゆみさん  
コーディネーター 沼尾ひろ子さん

農林水産省

aff 8 August 2014

発行人/農林水産省 <http://www.aff.go.jp/>  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関のり1-2-1  
TEL:03-592-8111 (代) FAX:03-592-8166

印刷/石塚印刷株式会社 Printed in Japan  
発行人/農林水産省

生きるために食べる。  
食べるために食べる。

# little forest

【リトル・フォレスト】

## 夏／秋

橋本愛 三浦貴大 松岡茉優 温水洋一 桐島かれん

監督/脚本/撮影/演出/五十嵐大介 [51嵐・F&S] www.littleforest.jp  
フードスタイル/shotlip 音楽/宮内雅良 三編訳/FLOWER FLOWER [F&S]

littleforest-movie.jp

2014.8.30

映画  
『リトル・フォレスト  
夏・秋』  
公開記念座談会

# 生きること、食べること、そして、食料をつくること—— “食”と“農”の本質的な繋がりを 多くの人に感じて欲しい



いせざきまゆみ  
神奈川県出身。東京でアパレル関連の仕事に従事した後、岩手県遠野市に移住。現在は、遠野市の「風土農園」で、お米を中心とした作物を自然栽培で育てるほか、発酵食や馬糞など地域の伝統を伝える活動にも取り組む。「農業女子プロジェクト」メンバーとして活動。

もりじゅんいち  
東京出身。テレビドラマの助監督を経て、自身の脚本『Laundry』が2000年サンダンス・NHK国際映像作家賞日本部門を最優秀賞を受賞。同作品を監督デビュー。これまでに映画『アマレット』『重力にエロ』などの監督作を手がける。

ぬまおひろこ  
栃木県出身。民放アナウンサーを経てフリーに。現在は栃木県宇都宮市で農業に携わり、健康、エネルギー再生産業を軸とした豊かな生活が「藤井里山モデル」を提案。「農業女子プロジェクト」サポーターとしても活躍中。

ないで、そして、その食するものをつくらせているのは農業です。  
昨年、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されましたが、和食は他の料理と違ふのは、素材をそのまま活かすことです。旬のおいしさを、ただただの味付けをし、自然をたっぷりいたたいたのが日本の食のすばらしさです。その中で、和食がますます緊縮的なイメージを醸成している方向性を見ていたのは、とても心配だと思っています。盛りつけの美しさを、活字にしてみてもなかなか伝わりにくいですが、こうしてビジュアルになって、食するところだけの部分の人が、「和食があつて食事ができている」ということ、自然に思ひ寄せられるものは、非常

に大きな意味があると思います。  
沼尾 食作物って野菜でもなんでも、お店で売っているのに、自分で作るの生きるとしていいと思つて、伊勢崎さんは飛び込んだんでしょ？  
伊勢崎 私も8年前までは東京で暮らしていて、自分が買っている野菜がなんな種か何のかわからなかったんですよ。でも、それが生長したあとにどうなってるのか、といったイメージがまったくありませんでした。でも、岩手の遠野に移住した分には、自分たちがつくったものを食べるという笑顔を想像しながら作物を育て、生きることをやめることを毎日肌で感じています。  
沼尾 もう一方が、この映画の真意を語っています。

林農林水産大臣 × 森淳一さん × 伊勢崎まゆみさん

農業女子メンバー × 沼尾ひろ子さん

映画  
『リトル・フォレスト 夏・秋』  
2014年8月30日(土)より全国ロードショー  
『リトル・フォレスト 冬・春』は、2015年2月14日(土)に公開予定  
監督: 沼尾 一  
原作: 『リトル・フォレスト』五十嵐 美大  
脚本: 『アタラシ』(所載)  
出演: 松本 愛 三浦 貴大 松岡 茉 温 水 淳一 梶 裕 貴  
http://little-forest-movie.jp/

舞台となる「小森」は、東北のとある小さな集落。主人公いち子(橋本 愛)は、一度都会に出たが再び、ここに帰ってきた。自然の恵みを受けながら、自給自足に近い暮らしをするいち子は、生きる力を充電していく…… © 2014 『リトル・フォレスト』製作委員会

沼尾ひろ子さん  
日本人のDNAには「育てる喜び」を見出す本能がある。そうした本質を映画で表現したかっただです。

森監督 そうで、生きるために食するとは、行為として簡単ですが、つくるのが入った瞬間に、ハードルが上がってしまう。僕がこの映画を撮りたいと思ったきっかけは、定年を迎えた両親が小さな土地で農業を始めたのでもう一度、僕が最初、野菜がスーパーへ行けば買えるのに、どうして自分づくりにこだわったのか、そのうち日本人のDNAや本質の中には、育てる喜びを見出せる何かがある、というのがある、と思うようになりました。だから、こうした人間の本質的部分を、映画表現したいと思つています。農業には難しさもあつて、きれいなと

自然をそっくり  
いたたくのが  
日本食のすばらしさ  
沼尾(敬称略 以下同) 今回は8月30日に公開される映画『リトル・フォレスト 夏・秋』で描かれて「生きる」と「食べる」というテーマについて、皆さんからお伺いします。  
これは人間が生きていく上でとても大事なテーマです。農林水産省がこの映画にタイアップしたのは、やはり大臣もそううた部分に共感されたからでしょうか。  
大臣 そうですね。人間は食べないと生きていけない。食料を

農と食が繋がるようなイメージを映像で見ていただくのは大事。日本食の「盛りつけ」の美しさなどもビジュアルでこそ伝わりますよね。  
文 塚田有香 写真/松本雄一

今年8月30日より、東北の大自然の中で生きる力を充電する女性の姿を描いた映画『リトル・フォレスト 夏・秋』が、農林水産省もタイアップして公開されます。そこで、この映画を監督した森淳一さんと、映画の主人公のように都会から農村に移り住んで農業者に転身した伊勢崎まゆみさんをお招きして、林農林水産大臣との座談会を開催。フリーアナウンサーの沼尾ひろさんがコーディネーターを務め、映画のテーマ「生きる」「食べる」「つくる」について語り合いました。

「山で切った木を馬で運ぶ」「馬搬」の技術は、遠野でも80代の二人しか残っていない。だから受け継いでいきたいんです。



だけを映すのではなく、命をいたいたることも含めて、映像化しないといけないと思います。

**伝統的な行事や風習を通じて 集落を守りたいが伝わらぬ**

尾徳 映画の中では、農業を通じて伝承される地元の知恵も、たくさん描かれています。馬に住民の文化を受け継ぐことも大切なことではないでしょうか。

大田 日本によくある養蚕や秋祭りなどの行事も多くは、農業に由来しています。正月に食へばお雑煮は、地域によって餅が丸かたなり四角かたり、汁の味付もすべて違いますよ。これも、その地域で何がされるのかといった馬の語にかかっています。収穫も実際自分でやってみたら、喜びもひとしおだと思いますね。そして地元の人たちにはこんな意味があるんだと、故郷にはこういふつながりがあるんだと、感じていくのだと思います。特に農業は同業者をまとめる場所がありますから、集落やコミュニティの大事も自然と伝わっていくからいいかな。尾徳 おおりのように伝統を加えて、農村の景観を受け継いでいくことも大切ですね。大田 田圃風景は、農業がもたらすと書かれていて、これと見比べると、水やさんあんあつて、CO<sub>2</sub>が吸収され、生物多様性が維持されるから、多面的機能を農村や農業が果たしているからいいかな。



伊勢崎さんのような女性が農村に二人来るだけで、雰囲気が変わる。「農業女子プロジェクト」でさらに、付加価値が高まると期待しています。

私たちが昨年「農業女子プロジェクト」を展開しています。例えば、現場にトイレがあったらいいよね」「農業着や農業用機械について男性社員だけじゃなかった色々な意見をお聞かせ、民間企業とタイアップして商品やサービスをつくっているのですが、かならず上がっています。現在、若年層農業従事者の約4割が女性で、新規就業者も割合が低下。女性が入って来て、消費からみてもいいものをつくって、マーケティングの手法によって、付加価値の高いものが生まれるだろうと期待しています。



四季折々の農か自然の美しさが、作品全体を彩る。また、いちいち畑や周りの野山で採ってきた、旬の食材を使った、少人数のスタッフとキャストで挑み、ていねいにつくられた。 ©2014「トル・フォレスト」製作委員会

あんな風景があるのです。ただ、それを維持するには、水路を掃除して泥上げしたり、草を刈ったりしてはダメでしたね。それにはない大変な作業です。今は高齢化が進んで、昔は当たり前だった作業もなくなっています。今年度からは「多面的機能支払交付金を創設した」。多面的機能発揮促進法も、国会で成立して、地域全体を取り組む共同助成を設け、直接支払も進めることで、美しい農村を維持していきたいと思っています。尾徳 農業には、うれしことずいずい増えています。大田 昔は、この映画が岩手県1年振撮影されたと同じように、うれしことずいずい増えています。



**岩手県オールロケの中では、四季の美しさ、特に春を迎える喜びの大きさを、撮影隊の僕らも撮ることができました**

今あるのをおしえていただくと充実した生活が、農村や里山に強みとなり、地元の人たちが来たり、次の世代の循環も回っています。都合と田舎の若狭、では全く両方楽しめるのが増えてきました。私たちも企画で後押ししたいと思っています。

森監督 今回の映画撮影も、実際に行くことで、農作業のリアルを感じてもらうのは大切なことだと思います。お宅を訪問させていただき、皆さんお宅の中で暮らされています。田舎で暮

**農村に住み、農業を通じて 伝承される地元の知恵や文化を受け継ぐのも大切なことです**

森監督 はい、岩手県奥州市の1年間オールロケです。夏前から、暑い夏、寒い冬、春と、田圃の四季の美しさを体感しました。特に印象的だったのは、春を迎える喜びの大きさです。木々が芽吹き、花が咲いて、虫や動物たちが活動始めるのを喜び、感じて、東京暮らしの時よりも何十倍もその喜びを、撮影隊の僕らも、知ることができました。

尾徳 伊勢崎さんは、季節を感じて春が待たないかたという喜びは、私もかかっています。伊勢崎 春の足は、馬車という遠野ならではの、冬に出た切った木を運び出す作業を助めています。今も遠野で馬車を営んでいる人は、80代のおおられます。伝統を残さないよう、技術を受け継いでいきたいですね。女性の農業への参画は、活性化の原動力になる。尾徳 地域が元気になるって原動力に、女性がいるのとないのはとても重要ではないでしょうか。

**農業女子プロジェクトってなに？**

農業女子プロジェクトは、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を、様々な企業との協働を通じて、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信するものです。

プロジェクト活動を通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信。社会全体での女性農業者の存在感を高め、さらには、職業としての農業を選択する、若い女性の増加を図ります。

※サービスは、企業がもつ技術、ノウハウ、アイデアなどのこと

農業女子PJ

<http://nougyoujoshi.jp/>  
<http://www.facebook.com/nougyoujoshi.project>

農業女子の力を企業に

**農業女子**

民間企業・団体

企業の力を農業女子に



- 2 映画「リトル・フォレスト 夏・秋」  
公開記念座談会  
「食」と「農」の本質的な繋がりを  
多くの人に感じて欲しい  
林農水産大臣×映画監督 森淳一さん×  
伊勢崎まゆみさん コーディネーター・沼尾ひろ子さん
- 6 東日本大震災からの復旧・復興に向けて  
福島県相馬市／坂下果樹園
- 8 特集1  
活用しよう! 農地中間管理機構
- 14 チャレンジジャーズ トップランナーの軌跡  
静岡県 株式会社サンゲイス
- 16 特集2  
食文化研究者・清柳の  
味わいふれあい 出会い旅  
第3回「静岡県御前崎市「ガワ」
- 20 MAFF TOPICS  
次世代施設園芸のプロジェク  
日本各地で始動中!
- 23 読者の声／  
農林水産省とれたてニュース

表紙: ©FUSAO ONO/SEBUN PHOTO/amanoimages

広報誌「aff(あふ)」について  
 農林水産省と農山漁村は、食料の安定供給はもちろんのこと、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の発揮を通じ、国民の皆さまの毎日の生活において重要な役割を担っております。また、農林水産行政は、生産者との現場に密着したものであると同時に、毎日の生活に深く関わっております。農林水産省では「aff」を通じて、農林水産業における先進的な取り組みや農山漁村の魅力、食費や消費の現状などを紹介しております。

ホームページのご案内

「aff」は、農林水産省のホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>



■編集・発行 農林水産省大臣官舎総務課広報室  
 〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
 TEL.03-3502-8111 (代表) FAX.03-3502-8766  
<http://www.maff.go.jp/>

■編集協力 一般社団法人農光協会  
 〒162-8448 東京都新宿区区市谷谷河原町11  
 TEL.03-3266-9045 FAX.03-3266-9046  
<http://www.ienchikari.net>

メールマガジンのご案内  
 大臣メッセージや施策の紹介、イベント情報などを本誌付録する「農林水産省メールマガジン」を毎週金曜日に発行しております。ぜひご登録ください。無料です。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

フェイスブック・ツイッターのご案内

Facebook <https://www.facebook.com/maffjapan>  
 ツイッター [https://twitter.com/MAFF\\_JAPAN](https://twitter.com/MAFF_JAPAN)

本誌に掲載した論文などで、発見された部分は、それぞれ著者の個人の見解であることと断言します。

東日本大震災からの  
復旧・復興に向けて

被災園地で進む、新たな試み

全てを失ったところから……福島の新境地へ  
 日本なし農家は復興に向けて前進中!

相馬市磯部地区を代表する日本なし農家の坂下耕さん。東日本大震災による津波で家屋も園地も失い、営農は二度はあきらめたものの、再開を決意。果樹の育成期間を半年以下にする栽培技術も導入し、二日も早い収穫を目指しています。

写真提供／坂下耕、福島県相馬市農林事務所



津波で流された坂下さんの園地



神奈川県農業技術センターで樹体ジョイント仕立てを施されたなしの木。坂下さんの園地も数年後は成園化する(写真はイメージ)



「樹体ジョイント仕立て」用に植えた苗木の手入れをする坂下さん

農機具からなしの木まで  
生産に関わるすべてが津波で流出

「フルーツ王国」とうたわれる福島県では、昼夜の寒暖の差と良質な水を生かす「四季折々の果樹が生産されています。なかでも日本なしは「幸水」をはじめ「豊水」「二十

世紀」「あきづき」「新高」など栽培品種も多く、震災前の平成22年には、全国第3位の収穫量を誇っていました。

相馬市磯部地区に住む日本なし農家の坂下耕さん。震災前には、年60以上の日本なしを出荷していました。

ところが、震災によって2.65aあった園地のうち、家屋を含む55aが津波で流失。高台にあった残りの園地は難を逃れたものの、自宅だけでなく、農機具や設備が取崩されていった納屋も流されました。坂下さんは、当手を振り返り「営農再開は、もう無理だと思いましたね」と話します。

仮設住宅で暮らしながら、瓦礫撤去のアルバイトをしていた坂下さんですが、「なし作りを再開して、地域の仲間を元氣にした」との強い思いから、もう一度、日本なしの栽培に取り組みすることを決意。県の事業などを活用することで、同じように被災して園地を失った日本なしの生産者を雇用し、再開のスタートラインに立つたのです。

おいしい果物を作って  
全国のみなさんに届けたい

平成25年度には、被災園地の一部で栽培を再開できるところになりました。津波で何もなくなくなった土地に日本なしの苗木を植えることから始めるので、収穫までに何年ものかかりますが、取



坂下さんが栽培を目指す福島県生まれの新品種「あづみく」

8月下旬から収穫される「幸水」は、糖度の高さとみずみずしさで人気。もちろん、放射線物質に関する検査を行った後に出荷する



下さんは「新しいことに挑戦しようという気持ちが湧いてきた」といいます。そこで、樹と樹をアーケードのようにジョギングして仕立てしていく栽培技術「樹体ジョイント仕立て栽培」に取り組みことにしました。

これは、神奈川県農業技術センターが開発した技術で「普通なら10年かかる苗木の定植から収穫までの期間を4〜5年ででき、省力低コストにもなる栽培技術です」。何より、生産がどんどん加速して、復興の励みになると思っていたんです」と坂下さん。

さらに、将来は福島県が開発した新品種「ぶどう」「あづみすずく」を導入し、日本なしとセットで出荷する予定です。坂下さんは「全国のみなさんの支援のおかげで、ようやくこゝまで復興できました。私たちが一生懸命作った福島産のおいしい果物をお届けしたいです」と話してくれました。

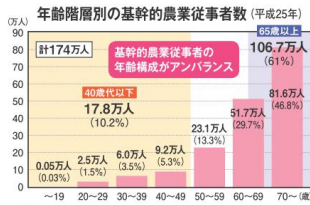
福島県相馬市  
坂下果樹園

文・写真／保ブーン  
イラスト／青山ゆういち

# 活用しよう！農地中間管理機構

農業者の高齢化や耕作放棄地の拡大が進む中で、地域農業を支える担い手への農地利用の集積・集約化を図っていくことが喫緊の課題となっておりです。こうした事情を背景として、担い手への農地の集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速化し、10年間で担い手が利用する農地の割合を現在の5割から8割まで引き上げることが目指されます。このため、農林水産省では、信頼できる農地の中間的受け皿<sup>※</sup>を都道府県段階に整備することができました。これが農地中間管理機構です。

ぜひ農地中間管理機構を活用しましょう！



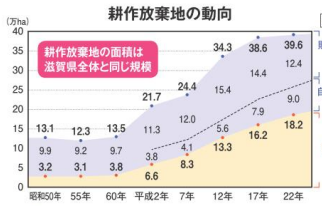
●年齢階層別に見ると、65歳以上が61%、40歳以下は10%という著しくアンバランスな状況となっています。

資料：農林水産省「農業構造動態調査(概数)」(相替集計)

※基幹的農業従事者とは、農業就業人口のうち、普段仕事として主に農業に従事している者をいいます。

そもそも、農地中間管理機構の創設の背景は？

担い手への農地の集積・集約化を目指す。現在のわが国の農業構造を見ると、これまで農地流動化の結果として、担い手の利用面積は農地面積全体の約5割となっているなど、かなしい変化が見られます。農業の生産性を高め、成長産業としてのりくためにも、担い手への農地の集積・集約化をさらに加速化していく必要があります。



●耕作放棄地面積は、高齢者のリタイアなどに伴い、急激に拡大しています。●特に、土地持ち非農家の所有する農地の耕作放棄地が急増しており、全体の半分となっています。

資料：農林水産省統計部「農林業センサス」より作成

農地中間管理機構って具体的にはどんなもの？

●農地中間管理機構が農地を借受け、できるだけまとまった形で農地利用の集積・集約化を目指す担い手に貸付けます。

●狭小な区画や排水条件が悪いなど、担い手がいけない農地は、必要に応じて農地中間管理機構が整備して、担い手に貸付けます。

農地中間管理機構は、まさに中間的な受け皿！

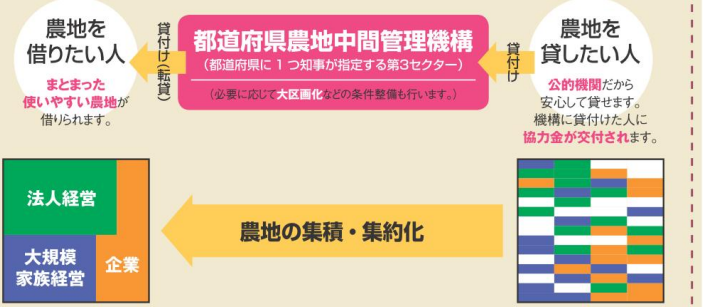


農地中間管理機構

●農地中間管理機構は、借りた農地を借り手が見つかるまでの間、責任を持って管理します。

●農地中間管理機構は、その業務の一部を市町村などに委託し、農地中間管理機構と地域の農業関係団体などが一体となって、農地集積・耕作放棄地解消を推進します。

## 農地中間管理機構の仕組み



また、農業者の高齢化の進展に伴い、基幹的農業従事者率は、65歳以上が全体の6割以上を占め、60歳以上で見ると全体の4分の3を占める。一方、40歳代以下は1割のみで、非常にアンバランスな年齢構成となっています。

一方、耕作放棄地はこの20年間で約40万haに倍増。そのうちの約半分は、農業を行っていない人が所有している農地が耕作放棄地となっているもので、今後、相続などを通じて、このような耕作放棄地が増えるおそれがあります。

さらに、農地の利用状況は、10・20haとそれよりも、小規模を有する農業者でも、小笠原画の農地をあちこちに分散して利用している状況であり、生産性向上の大きな阻害要因となっています。

このため、平成24年度から、国では地域における人と農地の問題—を解決していくために、各地域の農業者の間で地域農業の将来について、中心となる経営体をつくるか、その経営体に農地をどう集積・集約させ

# 農地中間管理機構って、具体的に何をしてくれるの？ どう活用すればいい？

## 農地の貸付先は

### 公募した上で決めます

●農地中間管理機構は、農地の借受希望者を市町村などの区域ごとに公募します。

●募集の際に、地域ごとの担い手の状況（多い/少ない/か）についても公表することになっています。

●農地中間管理機構が農地の借受希望者を募集した場合は、地域内の担い手の方、地域外の農業者や企業などを含め、借受希望者全てに募集に応じいただきます。

●その際、農地中間管理機構は、応募者のニーズ（借受けを希望する農地の種別、面積、借受期間、作付けする作物の種類など）を丁寧に把握することになっています。

## 農地中間管理機構



農地中間管理機構は、担い手への農地の貸付けを透明性のある公正なルールの下に行います！

## 4つの原則で 公正に調整します

- 農地中間管理機構は次の4つの原則に基づいて作成された、都道府県知事の認可を得た公正な貸付先決定ルールに従って農地の貸付先を決定します。
- ① 農地の借受希望者の規模拡大または使っている農地が分散し相互に入りこんで利用されている状況の解消に資すること
  - ② 既に効率的かつ安定的な農業経営を行っている農業者の経営に支障を及ぼさないようにすること
  - ③ 新規参入をした者が効率的かつ安定的な農業経営を目指しているようにすること
  - ④ 地域農業の健全な発展を旨として、借受希望者のニーズを踏まえて公平・適正に調整すること

# 農地中間管理機構は、こんな使い方ができます！

## リタイアするので農地を貸したいな！ と思ったら……

年をとって農業がつかなくなってきた。でも、農地の貸付けはいろいろめんどろだろうな。だれにでも貸せるわけじゃないし……



だからといって、そのままにしてしまうと荒地地になるしねえ……

それなら、農地中間管理機構に農地を貸してください。お借りした農地は機構が担い手に転貸します！



## 利用権を交換して分散した農地を まとめたいな！ と思ったら……

借りた農地があちこちに分散しているから、作業も移動も大変なんだよ……



私もそうなんです。なんとかまとまった農地で効率よく作業できないものかなあ……



農地を集約したいと思っている関係者の方が、そろって農地中間管理機構に農地を貸してください。機構が担い手の使いやすい形にまとめて転貸します！

## 地域ぐるみで活用すると、 たくさんの方のメリットがあります

地域の農業者の方々や市町村が農地中間管理機構と連携を密にすることが重要です。また、「人・農地プラン」の話し合いの中で、地域でまとめて農地中間管理機構に農地を貸付け、地域内の農地利用の再編成を進めることで合意するのが最も理想的な姿です。

その際、地域に協力金（地域集積協力金）が支払われるというメリットも。青年就農給付金、農の雇用事業、スパー11資金などの支援は、引き続き受けられます。

## 新規就農するので農地を借りりたいな！ と思ったら……

脱サラして農業を始めたいけど、農地を借りるには、どうすればいいんだろう？



農地中間管理機構から農地を借りることが出来ますよ。まず機構の借り手の募集に応募してください！



## 企業などが農業参入するので農地を借りりたいな！ と思ったら……

当社も農業に参入しようと考えていますが、〇〇県の機構が借りられないでしょうか……



農地中間管理機構から農地を借りることが出来ますよ。〇〇県の機構のホームページにアクセスし、まずは機構の借り手の募集に応募してください！



### 地域集積協力金

農地中間管理機構への貸付割合と交付単価  
2割超5割以下：2.0万円/10a  
5割超8割以下：2.8万円/10a  
8割超：3.6万円/10a

※ただし、交付単価は平成27年度までのもので、農地中間管理機構の事業が円滑にスタートを切ることができるよう設定されています。平成28年度及び29年度はこの単価の4分の3、平成30年度はこの単価の2分の1になります。

なるほど！ 地域で皆でまとめて機構に農地を貸せば、地域の活動資金を支援してくれるんだ！



若い営農者に魅力ある農地を引き継げるとして、ますますやる気が出てきます

お互いの信頼関係を築けたからこそ、スムーズに進められました

**借り手**  
株式会社 ささき営農  
八木正邦さん



**農地中間管理機構**  
公益社団法人兵庫みどり公社  
三浦恒夫さん

**貸し手**  
岡村敏朗さん



相手との調整なども機構がやってくれて安心できます

**貸し手**  
竹北真雄さん



機構を活用すれば高齢の農業者も安心して次世代に任せられますね



この4月に稼働を開始したバジル工場。食品会社に卸す前の一次加工を行っている



ささき営農で一次加工した新鮮なバジルペーストが使われているMCC食品株のジェノベーゼソース。バジルペーストにチーズやガーリックを加えたコクのあるパスタソースだ



バジルはひょうご安心ブランド農産物に認定され、現在2haで栽培。将来的には地域で協力し、8haまで農地を拡大する予定だとい



農地を集約し、地域で栽培している水稲も兵庫県認証食品（ひょうご安心ブランド農産物）に認定され、伊勢神宮にも奉納された実績を持つ

やジャム、醸造酒へ加工して販売しています。こうした6次産業化をさらに拡大していくために、農地の拡大や運営資金が必要だったんです」と話すのは、代表取締役の八木正邦さん。

そんなとき、兵庫県の農地中間管理機構に指定された第3セクターである公益社団法人兵庫みどり公社から、農地の借り手となる話が舞い込みました。

「説明を聞き、地域で機構を活用することで地域集積協力金が交付されることも分りました。地域と共に発展できる農業法人に成長し、集落全体の生産性の向上につながるかと思ひ、借り手に応募することにしました」と八木さんは言います。

**機構を活用したことで地域農業の将来像が明確に！**

「ささき営農さんが地域の将来を見すえた農業を実践していることは知っていました。誰かに農務を託す場合、機構が間に入ってくれば、相手との調整なども機構がやってくれるので、安心できます」と話すのは、地域で長年農業を営

り公社から、農地の借り手となる話が舞い込みました。

「説明を聞き、地域で機構を活用することで地域集積協力金が交付されることも分りました。地域と共に発展できる農業法人に成長し、集落全体の生産性の向上につながるかと思ひ、借り手に応募することにしました」と八木さんは言います。

んできた岡村敏朗さん（78）と竹北真雄さん（79）。それぞれ約40aの農地をささき営農に託しました。

「今後は、ささき営農のような地域の担い手に、農地の集積を進め、条件のあまりよくない広帯にある耕作放棄地なども活用できるようにしていきたい」と話すのは、兵庫みどり公社の副理事長三浦恒夫さん。

「機構を活用したことで、耕作地は約51haに拡大。まじまじのある形で農地を利用できるようになりました。地域農業の将来像がより明確になりました。今後はさらにバジルや桑の実の加工といった6次産業化を加速させ、多角的な経営を実践することで、次世代にとって魅力ある組織にしたい」と、八木さんは将来の展望を語ります。



八木正邦さん（左）が代表を務める、ささき営農のバジル農場で。岡村敏朗さん（右）は農地を貸した後も長い農業経験を生かし、ささき営農の若い担い手の指導に当たる

**6次産業化を進めるため、農地を拡大したい——そんな折、農地中間管理機構から「借り手」の話があり、約51haの圃場で、バジルや桑の実など、大規模な栽培を計画中！**

株式会社ささき営農【兵庫県たつの市】

兵庫県で農地中間管理機構を活用する初の経営体が、たつの市新宮町笹野地区にある「株式会社ささき営農」です。

笹野地区は下笹、上笹の2つの集落からなり、古くから水稲を中心とした農業が営まれてきました。しかし、1戸当たりの耕作面積は平均30aと小さく、近年は農業者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっていました。

そのため平成9年から集落の今後を見すえた話し合いをスタート。地区の圃場整備などを進め、18年に誕生したのがささき営農です。水稲・小麦・大豆のほか、地域の新しいブランド農作物を作ることに力を注ぎ、バジルの契約栽培をはじめ、桑の実や山椒の栽培にも取り組んでいます。

「バジルや桑の実は、地元の食品会社などと協力し、バジルソース



笹野地区の農業をけん引しているささき営農には、現在82戸の農家が参加している

# 「隔離土耕」や「高溶存酸素ファインバブル水」などの先端技術を駆使して、トマトの収量アップや安定した品質を実現!

静岡県 株式会社サングレイス

革新的なトマト栽培を行う農業生産法人がある。と聞いて訪れたのは、静岡県菊川市の株式会社サングレイス。顧客のニーズにこそ応えざるを得ない。最新端の栽培技術を積極的に活用して、高い信頼を勝ち取っています。

写真/熊平

## バラ作りの技術を、トマト作りにも応用

水田と茶畑が広がる静岡県菊川市。この地に本拠を置く株式会社サングレイスは、ハンパリーガーチェリンのモスパーガーが使用するトマトを、この菊川市と、群馬県利根郡昭和村のハウスで生産しています。

同社の社長を務めるのは、非農家出



サングレイス静岡農場スタッフのみなさん。常勤6人、パートは8人。常勤スタッフは全員、非農家の出身。中央が社長の杉山健一さん。ハウスは4棟で約1.6haの作付面積



この技術は、農林水産省が行う「農業界と経済界の連携推進」による「農業確立実証事業」プロジェクトの一つに選ばれ、経済界のノウハウを農業界に導入するため、制御装置メーカーのIDEC様と連携し実験を進めています。

「大きな手ごたえを感じています。水の効果を実証できた。隔離土耕と組み合わせ、新しい栽培方法として普及するのではないのでしょうか」

また、サングレイスでは、取引先の要望をより満たすために、最新の栽培管理システムを導入しています。

「農家の経営補助に頼った栽培では、品質やサイズのニーズに応えるのは難しいです。養分に変わるのはデータです。トマトに与える養分や、ハウス内の湿度などを24時間モニターしています。そ



オランダの先進農法を見習い、成長した茎の先端はワイヤーに吊るす。これにより均等に光が入る設計に。モスパーガーに出荷するのは収量全体の20%ほど。それ以外は生協や小売店に出荷



(上)微細な気泡を液体中に安定的に混ぜ込むことで、高溶存酸素ファインバブル水(作)出す機械(下)アミノ酸を主体とした有機質由来の液体肥料。比較的高価な肥料だが、「トマトにたっぷり」と与えています」杉山さんは胸を張る

## トップランナーを支えた力!

「ただトマトを作るのではなく、問題点を意識する。そして、いっしょに働く仲間と、課題を徹底的に話し合い、設備や栽培技術の改善を繰り返す。農業経営は、農業技術の追求だと思っています」と杉山さん。サングレイスでは、メーカーや研究機関の実験の場として農場を提供することで、日々、新しい技術を採用しています。そのチャレンジ精神と攻めの姿勢が、同社の目覚ましい発展を支えています。

身の杉山健一さん(46)。神奈川県大学機械工学科を卒業し、電子制御システム工などの勤務を経て、33歳のときに親戚のバラ農家に就職しました。8年前、その親戚が廃業したのを機に、サングレイスを設立。トマト栽培に乗り出しました。

「そのとき、モットーにしたのが、お客様がほしいものを作る、ということ。これはどんなビジネスでも、当たり前のことですよね。農家も高い栽培技術があれば、野菜のメーカーになりうる」と述べています」杉山さん。

同社では、バラ栽培で培った技術を生かして、有機質活用型養液隔離土耕栽培「隔離土耕」(※)を導入、土づくりの研究を重ね、堆肥・有機液体肥料・化学肥料を、独自に配合しています。

この土をつくばる分売会社に送ったところ、含まれている微生物の多様性・活性度などから「土の偏差値83」という分析結果に。これは、20年間の

うして集めたデータをもとに、ハウス内の環境を細かく調整することで、お客様が納得する作物が作れるんですよ」

厳しいデータ管理の結果生まれたサングレイスのトマトは、顧客から高い評価を得ており、現在、年間生産量510t、売上高1億9千万円に達しています。

「年数を重ねるごとに、ますますトマト栽培の奥深さを感じますね」と話す杉山さん。その言葉からは、「トマトに対する愛情と、生育環境を向上させようという、強い意志が感じられました。

(※)有機質活用型養液隔離土耕栽培は、地面から隔離したフランチに土を充てられ、作物の生育に合わせた、必要水や有機質由来の液体肥料を点滴チューブなどで与える生育法のこと。

分析のなかで、トップクラスの優れた数値だったそう。

## 最新技術「ファインバブル水」で、育成速度が大幅アップ!

土づくり以外にも、サングレイスの農場では、最先端栽培技術の開発や検証を行っています。そのなかで、杉山さんが期待しているのが、「高溶存

酸素ファインバブル水。これは、農業用水から泥やごみを除去したのち、銀をまぶしたセラミックで過して殺菌し、さらに圧力を加えて極微小な気泡を生成した水のこと。大量の酸素を溶け込ませています。この水で肥料を希釈してトマトに与えると、根が活性化し、短期間で樹勢が良くなるそう。



食文化研究家・清絢の

味わい  
ふれあい  
出会い旅



浜の美味、漁師めしの  
「ガワ」をいただく！



第3回  
静岡県御前崎市



地域で愛される郷土料理の味とそれが生まれたルーツを研究しているわたくし清絢が、日本各地の郷土食を巡る旅。3回目となる今回は、海とともに生きる町が育んだ暑い夏にぴったりの食べやすく、元気が出る夏の味、漁師めしの「ガワ」のルーツを訪ねます。文・清絢 写真・川端正吾 イラスト・竜田麻衣

清 絢 (きよし・あや)

大阪府出身。日本各地の農山漁村を訪ね、伝統的な食文化や暮らしについて、調査研究を行う。日本の食文化と近代化・継承するた



真っ白に輝く  
御前崎のシンボルは  
青空と美しいコントラスト



静岡県の最南端に位置する灯台で、白亜のレンガ造りが美しい。上まで登ると太平洋を一望でき、少し曲がって見える水平線に、地球が球体だということを確認

御前崎灯台

御前崎港



一本釣りの生ガツオならここ！  
水揚げ量は県内随一



御前崎港は県内随一の生ガツオの水揚げ量を誇る。取材したときは、カツオの水揚げはなかったものの、真っ赤なキンメダイが大漁で、接ぎ苗の増田信義さんと奥さまの勝江さんとバチリ



御前崎灯台



車で7分

御前崎港

御前崎港



車で10分



暑い夏には、体をすつと冷やすものが食べたくなりますよね。カツオの水揚げで有名な、ここ御前崎には、夏を乗りきるための冷たい漁師めし「ガワ」があると聞いて、飛んできました。

まずは、漁師さんに話を聞こうと、向かったのは御前崎漁港。

「ガワはなんといつてもカツオだよ。船上で釣らたてのカツオを包丁でたたいて、味噌汁にタマネギと水といっしょに入れてかき混ぜて、うまいから、いっぺん食べてみろ」と、真っ黒に日焼けしたお父さんが、教えてくれました。

なぜ「ガワ」と呼ばれるかというと、汁に水を入れて混ぜるとき、ガワガワという音がするからだと、「うちはキンメでも作るよ。白身だとさっぱりして、またうまい」と、キンメ漁か帰ってきた漁師さんが教えてくれたのを皮切りに、漁者を間て、うちのガワ自慢大会になりました。

もともとはカツオ漁船の漁師さんが、仕事の合間に、まかない飯としてかきこんだとか。船上で食べるガワには、カツオの血や目玉まで入っており、口当たりもロッツとしており、かなり塩辛いそう。想像以上に豪快な、海の男の味つけです。

漁師の仕事は重労働なので、汗の量も並大抵ではありません。そんなハードな仕事を支える食事は、さっさと食べられるのはもちろん、精がつき、塩分も補給できるものというわけ。なるほどガワは、とても理にかなった一杯といえますね。

「でもね、一般の人には生臭くて、食べにくいよね……」と、苦笑する漁師の奥さん。地元の家で作るガワでは、魚の身だけを使い、塩けも抑えているそう。そのまま汁物として食べるほか、そうめんと合わせた「ガワそうめん」が、よく食卓にのびます。そうめんガワについて食べるお手軽メニューは、御前崎の主婦の強い味方。お昼どきはガワそうめんでもいいから」とあちこちで聞くほど、夏の定番です。聞けば聞けば、おなかがあグーッと、港近くの料理屋でガワが味わえると聞き、伺いました。

## ガワの作り方

### ●材料(約2~3人前)

- |            |            |
|------------|------------|
| アジ……2尾     | ミョウガ……1個   |
| カツオ……1/4尾  | 大葉……2枚     |
| ショウガ……1片   | ニンジン……適量   |
| 梅干し……1片    | 梅干し……2個    |
| タマネギ……1/2個 | 味噌汁……2~3人分 |
| キュウリ……1/2本 | 米……適量      |

### ※下ごしらえ

- 水が沸けるので、味噌汁は濃いめに作り、冷蔵庫で冷やしておく。
- ショウガとニンジンはみじん切りに、タマネギとキュウリは薄く切り、ミョウガと大葉とニンジンも千切りにしておく。
- 梅干しはタネを取り、軽くつぶしておく。



アジとカツオをさばいて細く切り、ショウガとニンニクを加えていただく。(①)



器に冷やしておいた味噌汁を入れて、①を加える。



米を入れて、かき混ぜる。



切っておいた野菜をのせて、最後に梅干しをのせる。

完成!



魚をさばるときは手早く進め!



- 駒形灯台 静岡県御前崎市御前崎1581 ☎0548-63-2550
- 御前崎港(南駿河湾漁業協同組合御前崎本所) 静岡県御前崎市港6131 ☎0548-63-3111
- 駒形神社 静岡県御前崎市御前崎937-1 ☎0548-63-2907
- 海鮮料理 みはる 静岡県御前崎市御前崎1099-3 ☎0548-63-5328
- なぶら市場 静岡県御前崎市港6099-7 ☎0548-63-6789

## 遺物のからつ風でイモの甘みが凝縮!



サツマイモの「芋切り干し」の生産が盛んな御前崎では、曾根竹男さんの地元有志が、地域の子どもたちにイモの苗の植え付けや収穫など、15年にわたり体験型の食育を実施している。芋切り干しは、地元の人々などで購入可能



散歩のおとも



干し加減の異なる2種類のシラスをつぶして、牛乳ベースのジェラートに混ぜ込んである「しらすアイス」。シラスのぷちぷちした食感が、甘みの中にほどよい塩けがしている。なぶら市場内の「イリアンジェラートマール」で購入可能



## なぶら市場



「なぶら」とは、「カツオの群れ」という意味。鮮魚店や土産店、飲食店が入った観光施設で、新鮮な魚介類を安く購入することができる人気のスポット。漁港直送の地魚を探る「ヤマヨリ」にて、おいしいカツオの選び方や旬の海の幸を教わってもらった



### なぶら市場



車で3分



### 海鮮料理 みはる



車で6分

### 駒形神社



航路を照らした漁業の守り神に感謝……



潮風香る岬で清涼感のある一杯を豪快に!



御前崎に揚がった旬の地魚をふんだんに使った料理が好評のお店で、週末には県外からの客でにぎわった人気の。ガワは季節限定のメニューとして、5~9月ごろまで提供している



大漁満足、海上安全の神様として地域の漁民の信仰を集める。海を臨む高台にあり、かつては境内の石組みの上で火をたいて、灯台の代わりを果たしたという。御前崎はアカウミガメの産卵地として知られ、海亀に乗る神様を描いた版画が納められている



漁港から駒形神社に立ち寄り、車を走らせて数分、岬の先端に位置する「海鮮料理 みはる」は、御前崎でとれた地魚のお店。季節限定メニューとして、ガワを味わえます。料理人の清水康年さんに、初心者向けのガワの作り方を伝授していただきました。カツオだけは少しかせがあるのですが、アジやカマスといった旬の魚をプラスするといいですよ」と清水さん。生の魚をショウガやニンニクなどの薬味とたいて、風味をアップ。あらかじめ濃いうま味で冷やした味噌汁を器にそそぎ、いただいた身と

水を加えたら、ガワガワとかき混ぜます。仕上げに、タマネギやキュウリなどをたつぷりのせれば、ガワの完成。よく冷えたガワをさらさらとかきむと、すーっと汗が引いていきます。すぐ家庭で作るときは、ぜひ新鮮な魚を使ってくださいね」と笑顔で見送ってくれました。照りつける強い日差しと、心地よい潮風。そして、キリッと冷えたガワに幸せ気分の日、海と生きる御前崎ならではの一品と出会え、食と暮らしのつながりをあらためて実感させてくれました。

上) IT技術により、自動化された栽培システムのパブリカの施設園芸を見学する林農林水産大臣  
下) 作業の機械化が進んだ、コチョウランの農場



オランダの大規模化した園芸施設。国内5か所に生産者、研究機関、関連企業などが集まるグリーンポートと呼ばれるクラスター（集団）が形成されている

モデルは、オランダの施設園芸よ



TOPICS

産・学・官が、がっちり連携! 文/榎ブーン

次世代施設園芸のプロジェクト  
日本各地で始動中!

農林水産省が推進する「攻めの農林水産業」を象徴する取り組みのひとつが、次世代施設園芸です。徹底したコンピュータ管理や施設の大規模化、バイオマスなどの地域資源の活用といった、一歩先を行く施設園芸を目指すプロジェクトで、今、全国各地で拠点整備が進んでいます。

日本の実情に合った先進的システムの構築を目指して施設園芸は農産物の安定的な生産に欠かせないものですが、日本では、ビニールハウスのような簡易な設備を導入して行うものが多くを占めています。しかし、ヨーロッパなど海外の農業が盛んな国々では、さらに先進的なシステムを構築して施設園芸を行い、成功を取っています。とくにオランダは、九州とは同じ国土面積であるにも関わらず、アメリカに次ぐ世界第2位の農産物の輸出額を誇っています。

去年5月、オランダの施設園芸団地を視察した林農林水産大臣は「進歩した施設園芸を目的の当たりとするのができました。オランダ（日本では気象条件も違うので、ノウハウをそのまま持つところにはできません）が学ぶところはたいにありましたね」と語りました。

オランダの施設園芸では、生産者、研究機関、関連企業が強力に連携しています。生産だけでなく、労務管理もコンピュータで行い、栽培のエネルギー供給から、収穫、出荷まですべてが所でコントロールされています。そこで、オランダの事例を参考に、日本の実情に合った先進的なシステムの構築を目指し、各地で次世代施設園芸のプロジェクトがスタートしました。

「生産者の所得向上と新たな雇用機会の創出に期待」  
次世代施設園芸のプロジェクトでは、国内の施設園芸を発展させるために、さまざまな取り組みを行っています。大

現在、全国9か所で民間企業、生産者、地方自治体、研究機関などが連携をして、拠点整備を進めています。さらに生産コスト削減のための新たな技術実証や、有利販売に向けた取り組みなどが行われており、将来の施設園芸のモデルとして期待が高まっています。

次世代施設園芸拠点のイメージ



## 「農林水産省とれたてニュース」

夏休みの自由研究にぜひ!



### 「子ども農が関見学デー」、今年も2日間開催!

東京・農が関に集まる府省庁などが連携して、省内見学や日ごとの業務内容を楽しみ、わかりやすく説明する「子ども農が関見学デー」。このイベントは、子どもたちが社会の動きや国内外で話題になっていることについて、広く知ってもらうを目的に毎年開催されています。今年8月6日(水)、7日(木)の2日間にわたり開催されます。

農林水産省のテーマは、「来て、見て、体験!」ようこそ農林水産省へ。開催予定の主なイベント内容は、次のとおりです。

- 大田宮、記者会見を見学してみよう! ●遊んで学ぼう! 農林水産業と環境のエコなつながり ●「食べ物」をたのしく科学してみよう! ●しょうゆの知り博士の出席授業 ●花育教室 ●見て、触って、味わって、お茶の魅力! ●子ども農が関木工教室 なお、各地方農政局などで各種夏休みイベントが開催されています。



### 《子ども農が関見学デー》

日時 平成26年8月6日(水)、7日(木)、10時~16時  
 受付場所 農林水産省本館正面玄関、本館南玄関、北別館玄関  
 受付時間 10時~15時45分  
 を受け取り「日本国語が関子ども旅券」と「農林水産省イベントガイド」を受け取り、各イベント会場を見学してください。  
 ※事前予約が必要なイベントの予約受付は、終了しています。  
[http://www.maff.go.jp/kids/k\\_d/index.html](http://www.maff.go.jp/kids/k_d/index.html)

昨年、農林水産省には親子連れを中心に、6327名の見学者が上! 林大臣が、大田宮で子どもたちと談話する場面も  
 左下: 木工教室では木箱を製作中  
 右下: ワークショップ体験は、専門家が楽しく指導

あふも  
ハバ、マボ  
行くわ

### 放射性セシウムに関する情報について

農林水産省のホームページ  
 (東日本大震災に関する情報)をご覧ください。  
<http://www.maff.go.jp/>  
 携帯電話用ホームページ  
<http://www.maff.go.jp/mobile/>

### 広報誌aff(あふ)の感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省のホームページ、広報誌affのサイトから回答できます。 <http://www.maff.go.jp/pr/aff/>

### 今回取材した地域



- 特集1 1 兵庫県たつの市(株式会社さき堂農)
- チャレンジ2 2 静岡県菊川市(株式会社サンクレスト)
- 特集2 3 静岡県御前崎市(御前崎港など)

## 次世代施設園芸プロジェクト・マップ

#### 兵庫県次世代施設園芸モデル田舎推進協議会

兵庫県 加西市  
 トマト(4ha) 木質バイオマス  
 統合環境制御技術により、10a当たり約170kgの収量確保(35t/ha)が確実。大型ツブボイラーで低コストのエネルギー供給。年間を通しての生産による、雇用の安定と長期研修生の受け入れによる人材育成。

#### 富山スマートアグリ次世代施設園芸実証推進協議会

富山県 富山市  
 トマト(1.2ha)  
 トルコギョウキョウ、ランキンユラス、カンパニョラ(1.2ha)  
 廃棄物由来燃料  
 安定的に供給される廃棄物発電と廃物の利活用。耕作地域における、大規模施設園芸のモデル的導入。

#### 北海道次世代施設園芸コンソーシアム

北海道 苫小牧市  
 イチゴ(4ha) 木質バイオマス  
 夏季の冷涼な気候を生かした、イチゴの周年産出に適した栽培や、高度な環境制御技術により10a当たりの収量確保10tが目標。

#### 石巻次世代施設園芸コンソーシアム

宮城県 石巻市  
 トマト(1.2ha)  
 パプリカ(1.2ha)  
 木質バイオマス  
 次世代施設園芸の実践による農業復興の加速化。オランダの高度な栽培技術を取り入れ、地域エネルギーとして木質バイオマスと地下水を利用。

#### 大分県次世代施設園芸推進協議会

大分県 九井町  
 パプリカ(2.4ha) 温泉熱  
 温泉熱を活用した、大規模施設園芸の実証。高度な環境制御技術による安定パプリカの年間を通じた生産確保。

#### 富士小山次世代施設園芸推進コンソーシアム

静岡県 小山町  
 高規格トマト(3.2ha)  
 高規格ミニトマト(0.8ha)  
 木質バイオマス  
 豊富なバイオマス、日照、交通インフラなどの利を生かした。高規格トマトの年間を通じた栽培と雇用機会の創出。コンピュータを活用した、複合環境制御による生産性の向上と、マーケティングによるブランド化。

#### 埼玉次世代施設園芸コンソーシアム

埼玉県 久喜市  
 トマト(4ha) 木質バイオマス  
 低設備環境制御技術で10a当たり約1.2tの収量確保30tが目標。高度なコンピュータ技術であるエッジクラウド制御システムと地下水を利用。

#### 宮城次世代施設園芸コンソーシアム

宮城県 石巻市を拠点に、平成26年5月1日に立ち上げられた。農業法人「石巻リール」デ北上のほか、石巻市や流通業者など7団体が構成員となり、1年度内に用地整備ができるよう事業を進めています。

### 宮崎中央地域次世代施設園芸実証推進協議会

宮崎県 園田町  
 ビーツ(2.3ha)  
 きゅうり(1.8ha) 木質バイオマス  
 高度なコンピュータ技術を活用した、生産性の高い経営管理システムの構築。JAの担い手育成センターと連携し、拠点の成果を地域の農業者に普及。

### 高知県県次世代施設園芸実証推進協議会

高知県 西芳町  
 トマト(4.3ha) 木質バイオマス  
 おが粉を利用した、大型木質バイオマスボイラーの導入による、化石燃料の使用量の削減。障害者雇用施設、子育てセンターと連携し、拠点の成果を地域の農業者に普及。

## 読者の声

「aff」読者から寄せられたご意見やご感想を紹介します。

- ◆海洋防災林、約140千口を再生中が掲載されていたが、自分も協力したいと心より思いました。塩害や飛砂などからみんぐを守ってきたということなので、もう一度再生させるためにボランティアとして参加するつもりです。(男性)
- ◆食という言葉を最近では子供を通じて接する機会が多いが、世界遺産である「和食」といふ日本の誇るべき文化としてこどもも子供たちと一緒に考え学んでいきたい。(女性)
- ◆食育特集ともよかったです。食育は生きていくうえで非常に大事な教養、知恵だと思いますが、それに気づいたのは社会に出てからでした。いまの子供たちにはもっともっと食育の機会を与えてほしいです。affを通じて農業、漁業の大変さ、大切さを学びました。1つ1つの食材に丁寧に向き合おうと思いました。(女性)
- ◆特集「みんなで広げよう…」は、調査による数値が記されていて客観的資料として良かったと思います。またtopicsの「オーライ! ニッポン大賞」は募集対象が広く、農家、農家の土気の高まりや農業、農家への理解もより進みやすくなると考えられますので期待いたします。(女性)
- ◆植物防疫官のお仕事は、身近な果物でも持ち込みということが分かり驚きました。でも、害虫や病気が持ち込まれると確かに大変なので、こういう仕事があることは重要だと思いました。(女性)

「県は、コンソーシアムの一員として、事業がスムーズに進むよう関係機関と一緒に進捗管理や、調整度などを進めます。また、今年度から、先進的の園芸経営体支援チームを県の試験研究機関に設置し、支援しています。また、複合施設制御技術やシステム管理技術の指導を受けることになっています」と話すのは、宮城県農産環境課の阪本宮城さん。

また、宮城県は東日本大震災で、甚大な被害を受けたことから、創生なる復興を目指していますが、創造的な復興はまさに重要です。この取り組みはまさに先進的な施設園芸を指している、県の復興の方向性にも合致しているもので、しっかりと支援していきたいと考えています。また本県だけではなく、被災した東北全体のモデル施設としてPRしたいと考えています。すでに各拠点でも、使用済みエネルギーや青でも決定に向けて着々と動き出しています。